

2022年12月16日

自治労 各都道府県本部 様

自治体“農”ネットワーク 代表 須之内 浩二

自治体“農”ネットワーク 農業シンポジウム および第27回総会の開催について

日頃より、自治体“農”ネットワークの活動にご理解、ご協力いただいておりますことに衷心よりお礼申し上げますとともに、各地域でのご健闘に心より敬意を表します。

さて、当ネットワーク活動の一環である農業シンポジウムおよび総会を下記のとおり開催することとなりました。大変お忙しい時期とは存じますが、皆様の積極的な参加をお願いします。

記

1. と き 2023年1月28日（土）13：30～18：00（13：00受付）
2. と ころ 主婦会館プラザエフ
（東京都千代田区六番町15-1（JR四ツ谷駅前）TEL 03-3265-8111）
3. 内 容 （定期総会）
自治体“農”ネットワーク第27回総会
（シンポジウム）
テーマ 「みどりの食料戦略と環境農業を考える」
－ 環境支払いの使命はどこに －
基調講演 農林水産省生産振興審議官 安岡澄人 氏
パネルディスカッション
交流会： 主婦会館プラザエフ
4. 参加費等 参加費 1,000円（資料代）
交流会費 6,000円
5. 申し込み 1月20日（金）までに下記までお申し込み下さい。
6. 問合わせ 自治体“農”ネットワーク代表：須之内 浩二
住所：〒311-8555 茨城県水戸市笠原町978-6 茨城県庁内
茨城県職員組合
Tel：029-301-6136 Fax：029-301-6143
E-mail：sunokoji@xb3.so-net.ne.jp

詳細は開催要項をご覧ください。

自治体“農”ネットワーク総会・シンポジウム開催要項

1. 日 時 2023年1月28日(土) 13:00~18:00 (懇親会 18:00~)

2. 場 所 東京 プラザエフ(主婦会館) 3階コスモス
千代田区六番町15 JR四ツ谷駅麴町口から徒歩1分

3. 内容及び日程

13:00 受付

13:30 開会

<総会>

13:30 ~ 14:15

<シンポジウム>

テーマ 「みどりの食料戦略と環境農業を考える」

— 環境支払いの使命はどこに —

14:30 主催者あいさつ

14:40 I 基調講演

講師：安岡澄人 農林水産省生産振興審議官

演題：「みどりの食料システム戦略の推進」

—有機農業の取り組み拡大を中心に—

15:40 — 休憩 —

16:00 II パネルディスカッション

◎司会 宇根豊 (思想家 農ネット応援団)

○パネリスト① 地域起こし協力隊員 等 人選中

「住んで、働いて、田舎を支える人を支える(仮)」

○パネリスト② みどり戦略下の普及事業を考える

高田勲 農ネット世話人(北海道普及指導員)

「地域農政、農業を支える普及事業の在り方を考える(仮)」

○助言者 安岡澄人審議官

17:45 閉会

<懇親会>

18:00 開会 (プラザエフ 4階シャトレ)

4. 参集範囲

農と農業政策に興味のある方すべて

(自治体農政に関わる職員、JA・生協関係者、農家、研究者、ジャーナリスト等を想定)

5. 参加費等

参加費 1,000円(資料代等)

交流会 6,000円

6. 参加申し込み

別紙申込書にて申し込みください。

申込期限 2023年1月20日(金)

申込先 須之内浩二

FAX 029-301-6143 (茨城県職員組合)

メール sunokoji@xb3.so-net.ne.jp

(電話:090-1112-3859)

(別紙 参加申込書)

F A X 番号 029-301-6143 (茨城県職員組合)

申し込み期限 1月20日(金) ※期日厳守!

須之内 浩二 宛て

自治体“農”ネットワーク

農業シンポジウム・第27回総会参加申し込み

団体名

電話番号

報告者氏名

参加者氏名	総会・研修会	交流会
	出 ・ 欠	出 ・ 欠
	出 ・ 欠	出 ・ 欠
	出 ・ 欠	出 ・ 欠

※ 総会・研修会、交流会のそれぞれ出欠を○で囲んでください。

(F A X送信する際の表紙は不要です)

自治体“農”ネットワークとは

自治体農林業に関する、情報交換や政策論議、職場や人の交流・連携の場をつくるための、全国の自治体の農林行政に関わる職員と、「自治体農政」に興味や関心のある人によるネットワークです。

1991年に三重県で開かれた自治労の自治研全国集会・農林業分科会から始まった集まりで、自治体の農林行政に関わる職員が、自治体の立場から農業・農政のあり方を発信しようと始まった「政策集団」です。自治労の支援を受けながら政策提言活動を展開し、運動の輪を広げ、阪神淡路大震災の直後の1995年1月に設立総会を開催し、正式に立ち上げました。

運動は、自治体職員だけでなく、学者、農政ジャーナリスト、生協、百姓、JA職員、農水省等を巻き込んで、現在の会員は全国に約400人ほどです。

これまで、農と環境を軸に「農のある村（まち）づくり」をテーマとした政策提言、実践を展開してきました。この取り組みを通して農林水産省や民主党(当時)の農業政策構築、JA全中の運動（JA安全システム等）等に直接・間接に影響を与え、食料・農業・農村基本法に都市農業振興の条文を入れ込んだり、田んぼの生き物調査を発案・普及するなどの成果を上げてきました。

独自の運動も展開しながら、自治労中央本部とは政治政策局を窓口に、日本の農業を共に心配する関係を持ち、任意の組織として協力関係をもっています。（下部組織ではありません。）

“農”ネットは、年に1回全国の話題を拾いながら、各地で総会・シンポジウムを開催し、地域組織の立ち上げを進めています。“農”ネットは個人参加が原則の団体で、日本の「自治体農政」と「農」のあり方に興味や関心のある方ならどなたでも参加できます。

会費は1年間、1,000円です。



<参考までに現在の世話人体制です。>

代表	須之内浩二	(茨城県 / 茨城県職員労働組合連合)
副代表	日置 拓也	(神奈川県/横浜市環境創造局北部農政事務所)
事務局長	古川 聖也	(兵庫県 / 神戸市経済観光局 西農業振興センター)
事務局次長	渡邊 なほ	(新潟県 / 上越農業普及指導センター)
世話人	前田 和男	(東京都 / 同文社)
	塚本 清音	(北海道 / 十勝農業改良普及センター)
応援団事務局長	奥井 重桓	(兵庫県 / 神戸市農村定住促進コーディネーター)
応援団相談役	浅井 幸雄	(神奈川県/元農ネット代表)
応援団	宇根 豊	(福岡県 / 思想家・農と自然の研究所代表)
応援団	堀井 修	(新潟県 / 元農ネット代表・百姓)
応援団	堀 保夫	(新潟県 / 巻農業普及指導センター)
応援団	西田 毅	(熊本県 / 熊本県自治研センター)
自治労本部	徳永 佳紀	(自治労中央本部 政策局長 / 徳島県) (担当役員)